

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：子ども相談センター費

事業名 子ども相談センター通訳業務委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111(内3561)

E-mail : c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 3,809 千円 (前年度予算額： 4,809 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,809	2,404	0	0	0	0	0	0	2,405
要求額	3,809	1,904	0	0	0	0	0	0	1,905
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和5年度県内の子ども相談センターの児童虐待相談対応件数は、2,982件となってい。相談者の中には外国人家庭も多く、多言語による対応が必要となる場合がある。法的な対応等、専門知識を有する者との連携により効率的に対応をすすめる事案も増加していることから、本事業を実施する。

(2) 事業内容

24時間の通訳業務

専門的な通訳業務に関する実績のある民間委託業者に電話通訳を依頼し、子ども相談センター・相談者と委託業者の2地点で3者間通訳を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2 県1/2 (児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金)

(4) 類似事業の有無

有 子ども相談センター機能強化事業費 ② 児童虐待対応通訳設置事業

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,080	通訳業務委託
需用費	100	消耗品費
役務費	629	通信運搬費
合計	3,809	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金の対象事業となっている。通訳業務委託は、他県では、愛知県、三重県、静岡県等が行っている。

(2) 事業主体及びその妥当性

現在、通訳業務が必要な場合には、各子ども相談センターが個々に委託契約を結んでいる通訳者や、県事務所の通訳者に依頼をしている。件数の増加や他自治体との競合により、通訳者の確保が難しい場合がある。通訳者の同行が必要ではない場合もあるため、電話通訳を行う委託業者へ依頼する。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

児童の保護や家庭への対応において、外国語への対応が必要な場合に備えて、適切な対応体制を構築する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %
令和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %
令和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 令和6年度、118件、3,590分の利用実績がある。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	外国人家庭が増えており、対応件数が増えている。適切な言語による保護者指導及び児童の支援が必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	事業の実施により、外国人家庭に対する家庭養育支援、不適切養育への指導につながった。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	確実に通訳担当者を確保できるため、円滑に相談業務を進めることができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

子ども相談センターにおける児童虐待対応件数は今後ますます増加することが予想される。民間企業の専門性やノウハウを生かし、外部委託できるところは積極的に活用していく

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

児童虐待に関する相談対応件数は全国的に増加の一途をたどっていることから、今後も24時間365日体制で様々な言語に確実に対応して相談を受け付ける必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--